



1月30日8時下関沖か
 ら抜錨後、神海丸が関門海峡を通航しました。生徒には朝食後、航海コンパスをデッキに集合し、通航の様子を見学しました。この時、関門海峡では、東流2ノットの潮流が、早さで15ノットの速を超え、や潮通信所などの船舶運航に重要な施設を見学しました。また、本州と九州を結ぶ関門橋や、宮本武蔵と佐々木次郎の決闘の地として知られる巖流島を見ることもできま



その後、偶然にもドック帰りのフェリーおきと行き会いまして。化粧直しをした船体は白く輝いていました。聞くとそこによると山口県柳井市のドックに入るそうで、次はフェリーらしきものが入渠します。



2月2日より連続海洋観測が始まりました。1日に4回（0・06・12・18時）合計20回の作業中は投縄終了後におこさないです。測器を水深10mまで沈め測定し、鉛直分布を毎日の水温・塩分・鉛直分布を知ることで、船の専攻科生は機械の操作や船の発停もしなければならぬのです。毎日緊張しながら頑張っています。



中の主な作業は漁具製作で、釣り針付け、ブラン作り、立ての順におこない約1700本の仕掛けを完成させました。自分たちの作った道具で大マグロが釣れるのを楽しみにしています。



● 6時30分・起床・点呼
起床後デッキに集合し、人数確認や体調の確認をおこなっています。毎朝のラジオ体操で1日が始まります。

● 6時50分・朝食



- 8時00分・・・掃除
います。定番のメニューは焼き魚です。
 - 8時30分・・・作業
分担して船内を清掃します。
 - 12時00分・・・昼食
延縄実習に向けて漁具の作成を行ったりデッキの清掃、船体整備をおこないます。
 - 13時00分・・・学習
海技士の資格取得に向けて学習に励んでいます。
 - 17時30分・・・夕食
陸上と比べると少し早い時間の夕食ですが、船ではこの時間が一般的です。
 - 20時30分・・・点呼
翌日の日程や体調の確認をおこないます。
 - 22時00分・・・消灯就寝

当直・食当

船を安全に運行するための実習として、生徒が一人ずつ、4時間交代で航海当直・機関当直を、おこなっています。航海当直では、周囲の見張りや船位の測定、操舵などをおこない、機関当直では、機関の点検・整備、航海機器の監視などをおこなっています。

また、当番制で食当があり司厨長の指導の下、食事の準備、片付けをおこなっています。



一言コメント「デツキ編」

MTK DYSRK YRT

 HYK FSTTK TOU

船酔い『0』三半規管狂いました。
 お父様お母様に早くお会いしたいです。
 早く電波を拾いたたいが全然ライン来なく
 てガツカリします。武田です。
 ハワイに行つて望遠鏡で谷間を見たい。
 得意な仕事は皿洗い。
 早く友達に会いたい。
 日付変更線一番の通過しました。
 帰ったら軽自動車を通す前に置いて
 ください。金の卵。
 航海士の金の子を少しでも体を休めたい。
 ハワイの女の子を見るために頑張るぞ。